

事業実施主体名 ○○市	
1 事業実施主体の概要（概要） ①団体の概要（代表者：○○市長 ○○ ○○、責任者：○○市 総務課 ○○ ○○） ②交付金事業に係る自己負担分の拠出元 （○○市費）	
2 事業担当者名及び連絡先 ①氏名（ふりがな）：○○ ○○（○○○ ○○○） ②所属（部署名）：○○市役所 総務課 ③役職：主任 ④住所：○○県○○市○○町○○9999 番地 ⑤電話：○○○○－○○－○○○○ ⑥メールアドレス：abcd-efg@city.hijk.lg.jp	
3 事業対象地域：○○県○○市	
目標：地域での食育の推進	
目 標 値	
現状（令和 6 年度）	事業実施後（令和 7 年度）
※ 「指標」、「目標値」及び「根拠となるデータ等」については実施要領別表 1 の「目標値」の欄及び「目標値設定に当たっての根拠及び留意事項」を参照してください。 目標値については、事業メニューごとに「共通の目標 1 つ（産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合）」と「個別目標 1 つ以上（例：農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の延べ人数）」の計 2 つ以上の目標値を設定してください。 【共通の指標】 指標：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ者の割合 根拠となるデータ等：産地や生産者を意識して農林水産物・食品を選ぶ国民の割合 〔現状値〕 67.4%（食育に関する意識調査（令和 5 年度） 〔現状値の考え方〕第 4 次食育推進基本計画（直近の食育に関する意識調査結果等を含む。）のほかに、都道府県又は市町村作成の食育推進計画や、当該の地方公共団体が実施するアンケート調査の現状値を踏まえた上で、現状値を設定することができます。 指標：農林漁業体験をはじめとする生産者と消費者との交流に参加した者の延べ人数（農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進） 根拠となるデータ等：○○市内における農林漁業体験者数 〔現状値〕 延べ 30 人（昨年度実績）	同左 根拠となるデータ等：第 4 次食育推進基本計画の目標値（令和 7 年度） 80.0%以上 〔目標値〕 令和 7 年度：80.0% 〔根拠となるデータの考え方〕第 4 次食育推進基本計画のほかに、都道府県又は市町村作成の食育推進計画の目標値を参照することもできます。 同左 根拠となるデータ等：過去 3 年の実績値の平均値 延べ 40 人 〔目標値〕 令和 7 年度：延べ 40 人 〔目標値の考え方〕農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進については、食育推進基本計画等の目標値によらない目標値を設定できますので、消費・安全対策交付金実施要領の別表 1 をご確認ください。

指標：学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数（学校給食における地場産物等活用の促進） 根拠となるデータ等：組織する検討会において学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数 〔現状値〕 0 品目 〔根拠となるデータ等の考え方〕学校給食における地場産物活用に向けて検討した品目数については本年度の事業内容を踏まえて検討予定品目や検討会の開催回数等から数値を設定してください。	同左 根拠となるデータ等：本年度の事業内容を踏まえて検討予定品目や検討会の開催回数等から数値を設定 5 品目 〔目標値〕 令和 7 年度： 5 品目
事業の必要性及び目標値の考え方 〔事業の目的の考え方〕目的の設定に当たって前提となる地域の課題も可能な限り根拠を示して記載してください。 1 事業の目的 〔現在の課題〕 〇〇市〇〇計画によると、農林漁業体験を経験した市民の割合は令和 5 年度時点で63%であり令和 7 年度目標値70%に足りていない状況。また、〇〇市で行った令和 5 年度〇〇調査では学校給食における地場産物の活用割合は30%となっており、農業の生産現場への市民の理解醸成が進んでいない状況である。 こうした状況を踏まえ、学校給食における地場産物の活用を促進するとともに、小学生によるサツマイモの苗付けから収穫までの一連の体験やその体験結果の周知を行うことにより、農業の生産現場への市民の理解醸成を図る。 2 実施体制 〇〇市役所（〇〇部〇〇課及び〇〇部〇〇課）と市内給食センター担当者、市内小学校の栄養教諭、県内生産者及び市内〇〇農園が連携して行う。 3 波及効果 今回の取組を、県内のテレビ局や市のホームページ、SNS 及び広報誌等により、市民に対して情報発信する。 ・ 県内のテレビ局での放映：〇回 視聴者数 約〇万人 ・ ホームページの掲載：〇回更新 閲覧者数 約〇万人 ・ SNS への掲載：〇回 閲覧者数 約〇万人 ・ 広報誌への掲載：〇回 全世帯 約〇万世帯へ配布 4 事業成果・効果の検証方法 〈農林漁業体験機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進〉 イベント終了後に、参加者を対象としたアンケート調査により効果測定を行う。 〈学校給食における地場産物等活用の促進〉 各検討会で議事録を作成し、最後の検討会後には今までの検討内容を踏まえた検討結果を記載した報告書を作成する。 5 委託関係 サツマイモ栽培体験の取組を委託する。 委託先：〇〇〇 委託費：〇〇〇円 6 その他事業の推進に必要な事項	

事業メニュー及び交付金要望額					
※事業メニューごとに具体的な内容を記載					
事業実施主体名	事業メニュー	事業量 (規格・規模等)	所要額 (円)	交付金要望額 (円)	交付率
〇〇市	1. 農林漁業体験 機会の提供をはじめとする生産者と消費者との交流の促進	・サツマイモの収穫体験の実施 令和7年6月(苗付け)、8月、10月(雑草駆除)、11月(収穫)(計4回) 対象:小学生 計40名	〇〇円	〇〇円	1/2以内
	2. 学校給食における地場産物等活用の促進	・〇〇市内の学校給食センターで調理する給食において〇〇県産食材(5品目:サツマイモ、じゃがいも、玉ねぎ、牛乳、米)、を活用するための検討会を開催する。(令和7年5月~6月に4回、8月、10月、12月、1月、2月に1回ずつ(計9回))	〇〇円	〇〇円	1/2以内
			〇〇〇円	〇〇〇円 「該当なし、 含税額」等	